

125年前の研究が発した警告

金管プレイヤーは 禿げる!?

「トロンボーン奏者は81%、
ユーフォニアム奏者は63%、
コルネット奏者は……」

今から125年前、

米国の科学雑誌『サイエンティフィック・アメリカン』に

驚くべき研究が掲載されて波紋を呼んだ。

「文」ガヴィン・ホルマン
Gavin Holman (日本語訳 井上直)

Gavin Holman
金管バンドの歴史と過去の資料を専門に研究している。大英図書館のIT部門のヘッドとして35年間勤務し退職。20年前に金管バンドの歴史やデータをまとめたサイト「IBEW」(<https://ibewbrass.wordpress.com/>)を開設し、世界中の金管バンドにオンラインでデータを提供している。Contact: gavin@ibew.co.uk

©Gavin Holman: Brass Instruments and Baldness - some results and observations from a 124 year old study. 5 June 2020

いつまでもフサフサした髪の毛で金管ブレイヤーの生活を全うしたいと思っ
ているあなた（主に男性読者のことですが）、
実はその道は、自分の頭をピカピカにする
のを早めているだけかも知れません。
1896年に『サイエンティフィック・
アメリカン』で発表された研究は、金管
楽器が他の楽器よりも髪の毛の健康に害を及
ぼす、と結論づけています。

「最近、英国のある統計学者は、音楽
が髪にどのような影響を与えるかにつ
いて独自の研究に取り組んでいる。……
弦楽器は脱毛の防止や抑制に役立つ一方、
金管楽器は髪に最も有害な影響を及ぼす。
ピアノとヴァイオリン、特にピアノの場
合は間違いなく髪の毛の保存効果がある。チェ
ロ、ハーブ、コントラバスではピアノと
同等の保存性を持っている。しかしオー
ボエ、クラリネット、フルートでは、そ
の効果はわずか50分の1に過ぎない。一
方、金管楽器の場合は真に嘆かわしい結



ヴァイオリンが髪の毛の保存に効果がある
という証明。

果になる」

（『サイエンティフィック・アメリカン』第75巻
第9号、1896年8月29日、185ページ）

同じ研究を要約して『ボストン・メデイ
カル・アンド・サージカル・ジャーナル』
は次のように報告した。

「金管楽器、特にホルネット、フレン
チホルン、トロンボーンなどは髪の毛の成
長に致命的な影響を及ぼし、5年以内
に明らかに脱毛するようだ。……連隊
バンドの隊員たちに蔓延するハゲは、ト
ランペット・ハゲ、「フランスでは」フア
ンファール・ハゲと名付けられている」
（以上の引用は『ファティリティ・クローゼット』
2012年2月17日に掲載されたもの）

この研究のニュースは英語圏の世界に
瞬く間に広まり、カナダ、イギリス、ニュー
ジーランドなどの新聞にレポートが掲載
されました。

その後この話
題は目新しさ
が消え、しば
らく静穏な状態
が続きましたが、
1904年7月
12日（日）、ア



自分の理論を証明するM・アンリ・デパーヴィル。

注目すべき理論

「バンドマンが苦しんでいること」

（タイムル・ヘラルド、第97巻14992号、
1913年3月11日）

「あなたがハゲなら、ヴァイオリンを
学びなさい」

これはM・アンリ・デパーヴィルの数々
の驚愕発言から引き出された教訓の一つ
で、『ミュージカル・ニュース』に引用
された。デパーヴィルによると、音楽は
神経系に明らかに作用し、神経は身体組
織の栄養にも影響を与えるため、音楽は
ごく普通にその人の生理学にも影響を及
ぼすと考えるのが合理的だという。
音楽家の禿げの割合は11%のようだが、

「バンド隊員たちに蔓延するハゲは
トランペット・ハゲと名付けられている……」

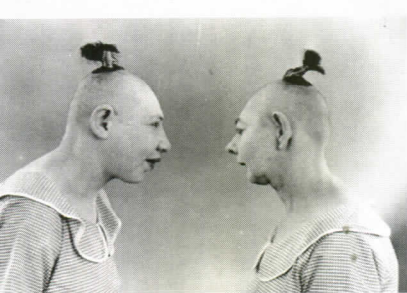
メリア・ホルブツク夫人がニューヨーク
のスタテン島にある「俳優の家」（リタイ
アした俳優たちのためのチャリティ施設）で
サイエンティフィック・アメリカンの研
究結果を踏まえた論文を発表し、再燃し
ます。論文には、神経疾患を持つ人にとっ
てワーグナーは、その「もっぱら描写的
な音楽」ゆえに最高の作曲家だ、とも付
け加えられていました。論文の最後で何
人かのプロミュージシャンが、夫人の推
論は自分たちの観察と一致したと述べて
います。

当初の研究から約17年後、以下のよう
な長い記事が登場し、その後数年にわた
り様々な新聞に孫引き（よくあることで
す）されました。

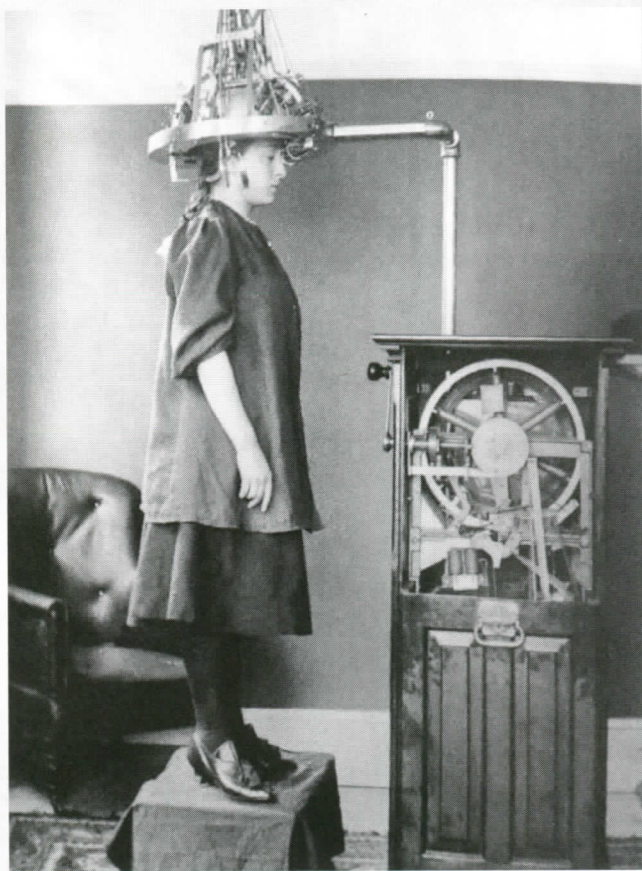
器楽奏者の場合、楽器の種類によってその振動が与える影響は二つの真逆の方向に分かれる。

すなわち、弦楽器は髪の毛を防いだり抑えたりするが、金管楽器は頭皮に最も致命的な作用を及ぼす。ピアノとヴァイオリン、特に前者は紛れもなく保存効果を持つ。デパーヴィルによれば、男性ピアノニストはみな「イザイのような髪の毛を持っている」のだという。チェロ、ハープ、コントラバスはすべて、ピアノと同じ有益な効果を共有する。オーボエはコントラバスより劣り、クラリネットとフルートは効果がかなり薄く、50年経つと、はっきり分かるほどに髪の毛が細くなり始める。

一方で、金管楽器の効果は嘆かわしいものになる。コルネットとホルンは、どんなに髪の毛の濃い人でも、驚くべきスピードと確実性でその特質が台無しにされてしまう。中でもトロンボーンはすべての楽器の中で最も有害であり、5〜6年で演奏者の髪の毛の少なくとも60%は失われてしまう。この疎ましい結果は「ファンファーレ・ハゲ」「ファンファーレはプラスチックのこと」として知られるというのも、邪悪は連隊音楽家たちに特



30年間吹き続けて来た二人のトロンボーン奏者。



ジュークボックスを使った実験は成功しなかった。

「トロンボーンは全楽器の中で最も有害で5〜6年で60%の髪の毛が失われてしまう」

に罰を加えるからだ。

『デイリー・ニューズ・アンド・リーダー』の主幹は、『プリティッシュ・バンドマン』誌の編集者でペニーホイッスルからパイプオルガンまであらゆる楽器の世界の権威でもあるヘンリー・J・イルズ氏に、この問題の見解を聞きに訪ねて行った。氏はあいにく床屋に出かけて留守だったが、氏の忠実な部下がこの問題をテーマに研究中で、親切にもデパーヴィルの驚くべき理論を裏付ける統計的な資料を提供してくれた。それによると、軍隊員たちは最悪の被害者のようである。

「彼らは髪の毛だけでなく歯も失うのです」と、この紳士は同情をにじませた声で語った。

「禿げた軍隊員は兵舎やパレードなどで普通に見かけますが、ハゲは歯のない楽隊員の苦しみ比べれば、さほどのものではありません。後者は、数年も職務を行使するうちに、ほぼ確実に前歯を失います。それを避けるには、細心の注意を払いながら、歯科医に定期的にケアしてもらわないといけません」

●ハゲのトロンボーン奏者

彼はさらに続ける。

「禿げのトロンボーン奏者は連隊の名譽でい続けられますが、歯のないトロンボーン奏者におそらく明るい将来はありません。これは、同じくコルネットで過

酷な演奏を続ける音楽家にも言えることです。前歯はバルブと同じくらい大事なものののです」

各金管楽器における禿げの割合は、次のように「分類」される。

トロンボーン奏者	81%
ユーフォニアム奏者	63%
ホルン奏者	60%
コルネット奏者（ソロ）	57%
コルネット奏者	51%
バスーン（大）奏者	49%
バスーン（小）奏者	48%

「訳注」バスーンとはオフィクレイド？」

こうした楽器は、いずれも口ヒゲを伸ばすには非常な妨げになるが（概して）顎ヒゲを生やす助けにはなる。フルートを定期的には吹くと、もみあげに素晴らしい「施肥効果」がある。1880年代に最高裁判所や高等裁判所の著名な勅選弁護士たちにフルートが大変好まれたのは、間違いなくそれが理由だった。こうした紳士たちの間では、日中に大きな太鼓を叩く運動が発声に同じような良い刺激を与えることも認められていた。

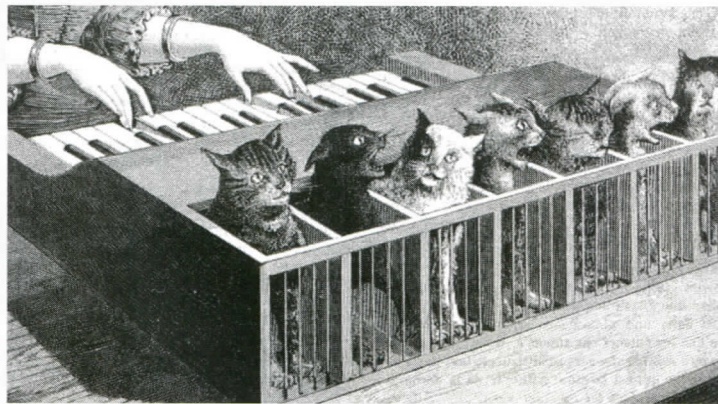
●ピアノ・トリートメント

古いボンDstリート界隈で、その存在と香水の香りを知らぬ者はない著名なヘアデザイナーは、トロンボーンと髪の毛の関係に関するこうした庶民的な議論に触れるのを嫌がった。ただし、楽器がハープやダルシマー、あるいはピアノ（自動演奏ピアノ）やパテフォン（蓄音機）だったら彼は前向きになったはずだ。彼の大叔父がプラハで獅子のような髪をしたベートーヴェンに会った話や、自身も

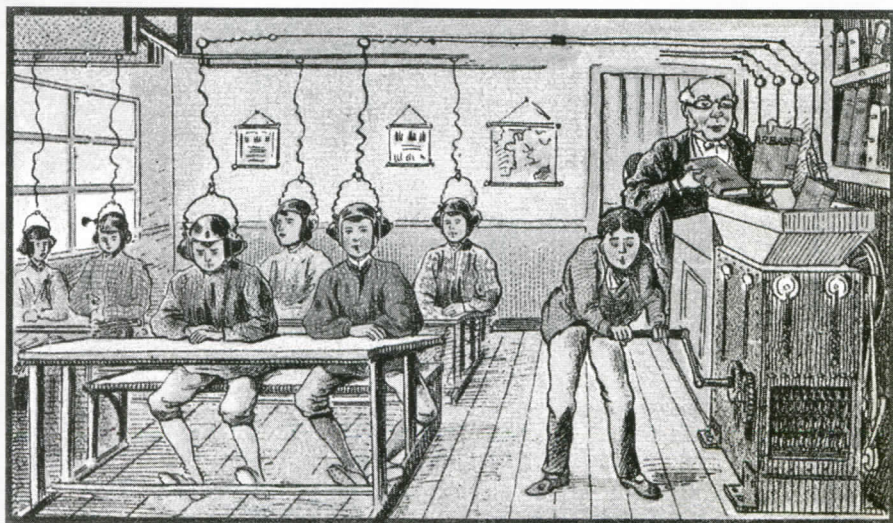
金管プレイヤーは禿げる!?

パデレフスキー「ポーランドの大ピアノスト」の髪を何度か刈った際に精神の高揚を覚えたことなど、ほかの他愛のない話も含めて、養毛剤を手に気前よく披露してくれただろう。

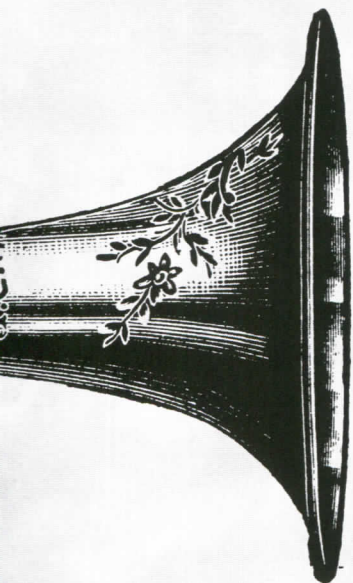
「これは本当の話ですが」と言っているヘアデザイナー氏は次のように続けた。「プロドウッドやベヒシュタインから流れるハイクラスの音楽が育毛を促進することは事実です。で、私はいまピアノラとして知られているものを自分のサロンに加えたかどうかと検討しているところなんです。クライアントの頭皮がリキッドや洗髪でも反応しない場合、電動モーターで回転するブラシでトリートメントしてあげたらいいかも知れない。適切な音楽を慎重に選べば、髪に強壯効果を及ぼすことは長く一定の研究者たち



ピアノ演奏が脱毛を誘発しないことを明らかにした初期の実験の一つ(この研究では7匹の猫だけが被害を受けました)。



アーバンのトランペット教本を高速で脳に直接注入し、被験者の髪への影響を調べようとしている。



1944年の追跡実験では音楽以外の「楽器」が髪にどんな影響を与えたかを調べた。ここではタイプライターがテストされている。

ちの間で認められて来た事実です。私にはある頭のいい科学者が最近私に教えてくれた発明の導入を考えているのです。それは「パテント音楽シャンプー」と呼ぶ、通常のシャンプー用の洗面器に装着できます」

●音楽シャンプー

「お客さんはいつも通りに洗面器に頭を入れ、ドライシャンプーの代わりに音楽シャンプーを選びます。オペレーターが小さなレバーを回すと、お客さん

「フルートを定期的に吹くと、もみあげに素晴らしい施肥効果がある」

んの頭は最高に楽しい刺激に包まれます。刺激は(普通のシャンプーで温水か冷水を選べるように)ピアノシモからフォルティシモまでダイアルで変えられるようになっていきます。音楽シャンプーはまた、お客さんの髪の色に合わせて様々な調性で提供されます。黒髪の人にはハ長調が最適ですし、茶色の髪には嬰ト長調、灰色の髪には変ホ長調、黄色の

髪には変イ短調、等々。以上はすべて非常に有望な計画ですが、発明者と条件面でもまだ完全に折り合いがつかず、現時点ではまだ「手つかず」のままです。様々な研究がその後も行われながらも(かなりの数に上る)、楽器によって男性型脱毛症がどのような影響を被るかについては、科学的、医学的なトピックとし

金管プレイヤーは禿げる!?



山高帽は金管プレイヤーには人気がなく、ツルっばげを隠すにも上手くいかない。



北国の金管プレイヤーたちに鳥打帽が人気がある理由(同じ帽子を被ったヴァイオリン奏者は滅多に見かけない)。

真実は、科学的事実として認知されたか、ゴミとして無視されたかのいずれか……

でその後取り上げられた形跡はないようです。かくして私(筆者=ホルマン)は、真実は次の二つのうちのどちらかだと結論つけざるを得ません。

(a) 最初の1896年の結論が明らか

に間違いない科学的事実として受け入れられ、更なる研究が不要になった。しかし、ではなぜ音楽家たちはその後ずっとこの問題について警告を受けてこなかったのか、という疑問が浮かびます。オーケストラの利益やプラスチック活動の継続に害になるとされたからでしょうか？

(b) 1896年の結論(および、その後の孫引き)はただのゴミだったか、あるいは統計学とは無関係だった。悲しいことに、これが本当かもしれないとは思いません。

でも、禿げかかった多くの金管プレイヤーたちは、脱毛の理由を自らの音楽的キャリアのせいに出る方を望んでいるのではないかと私は確信しているのですが。



金管バンドの歴史の宝庫! IBEW



ガヴィン・ホルマン氏が開設した金管バンド(吹奏楽全般も含む)専門のウェブサイト。金管バンドが生まれた19世紀から20世紀半ばく

らいままでの歴史を、過去の資料や写真を発掘して紹介している。記事量は膨大で、写真を見るだけでも興味深い。中にはこの記事でも紹介したようなユーモラスな話題も豊富。

同じIBEWの別サイトでは、金管バンドの以下のようなデータベースも提供している。日本を含む世界の金管バンドのウェブサイトリンク集、作曲家、研究家、研究論文、関連人物などの一覧、世界の関連楽器業界(楽器や楽譜出版物など)と管楽器団体一覧など。

IBEW – the History of Brass Bands

Brass Bands, bandmen and their music



Home About List of posts (2011-2020)

Vintage Brass Band Recordings

Posted on January 13, 2021 by Gavin Holman

Eighteen months ago, I produced the paper "Brass Band Archive Recordings – a brief guide to recordings of brass bands in libraries, museums and other archives". As a companion, I have now compiled "Vintage Brass Band Recordings", which is a listing of commercial recordings made by brass bands from the era of the wax cylinder to the compact disc. This is essentially produced from the lists of recordings I maintained in the IBEW website. Sadly, time, other distractions, procrastination, and lethargy have prevented me from adding much to the lists in the last 5 years or so – this is particularly evident in the listings of CD recordings, of which more recent releases are conspicuous by their absence. Nevertheless, I hope you find the listings of use or interest. See the link below to download the paper.

Search

Recent Posts

- Vintage Brass Band Recordings
- Brass Bands & Cornet Bands of the U.S.A
- Ladies and families – updated historical directories
- Musical Jack Tars
- Grimsthorpe Brass Band
- Roll up! Roll up! – 19th century circus and other professional bands in the British Isles
- Scorton Hospital Brass Band
- Bath Post Office Band
- Anthony Yorath and the first Crystal Palace Gold Medal



IBEWのデータベースサイト



IBEWの記事ブログサイト